
とってもサンタクロース。

国後旺

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とってもサンタクロース。

【著者名】

ZZマーク

N7765F

国後旺

【あらすじ】

クリスマスの夜、サンタクロースはある家に不法侵入して、女の子にプレゼントをあげようとします。強引なところが、とってもサンタつてる作品。

私はサンタ。白髭、赤服のサンタクロースだ。

三十一歳、独身だ。

クリスマスの夜に、電気が消えた子供部屋に侵入して、プレゼントを壁の靴下にぶち込むのが仕事だ。

ちょうど今十一時四十分だし、ちょうどビ田の前で、電気が消えた子供部屋の窓が開いてるので、入つてみた。

私はサンタだから、子供部屋がどこか分かるのだ。

あと、子供の匂いも分かる。サンタレベルが高い、私ならではのスキルである。

たまにキモイとか言われるが、そういうのはやめてほしい。傷付く。

クマやう、カピバラやうのぬいぐるみがあちらりかりに置かれた、メルヘンチックな部屋だ。

隅のベッドには、女の子が寝ていた。

女の子の頭に手を添える。私はこれで、欲しいものを知ることができるのだ。

見たところ、女の子は小学五年生くらいで、寝顔が物凄く可愛い。可愛いなあ、もつ。

頬を触ると気持ち良かつた。ヤバいやばい、ハンパない。

「サンタアアアアアアアアアアアアアア！」

「おおー！」

「サンタアアアアアアアアアアアアアア！」

「おおおおおおおおー！」

「来てくれないかなあ……すうすう！」

よく見ると、目は閉じたままだった。寝言かよ！

……しかし、今で寝てこることはよく分かった。

今のウチに、さつやと脳内を覗き見ることにした。

きらきらりーン（頭を覗いている間は、この効果音が鳴り響くのだ）

女の子が欲しいものは、チワワだった。

よし。靴下にプレゼントを……。

あー、靴下でも無い感じがするんだよ！

仕方ない。

私は靴下を脱いだ。

そして袋からファブリーズを出して、靴下に吹きかけた。よし！

袋から、チワワを出した。

うわ！ なんやねん！ どうやねん？

チワワを靴下に挿入した。

かはう。かはう。くく。くく。あを。あを。

やるな、女の子、マリー・ケリス！

待てサホイニハシヤモニ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7765f/>

とってもサンタクロース。

2011年1月1日14時25分発行